

淡路くにうみ協会のカレンダーの7月にはパルシェのラベンダー畑の写真などが採用されています。長かった梅雨も明けようとしています。なかなか自由に旅に出られない状況ですが、本の旅を応援させていただきたいと思っています



本や論文のリクエストや質問などお気軽にメールでおよせください  
tosyo@awaji.ac.jp

朝日新聞や神戸新聞の地域の景観園芸、動植物、環境、まちづくり、お祭りなどの記事を数年分キープしています。記事を見たい方はお声かけください

**A 図書館：郷土資料 (local collection)** とは郷土や郷土関係者などに関する、文献、視聴覚資料、博物館の資料のことで、当館では一番奥の書架と壁面の一部に黄色いシールを貼ってNDC順に配架しています。淡路を中心に兵庫県の各地の歴史、文化、まちづくり、動植物、芸能などの地域資料が並びます。淡路島の絵本やカルタもあります。「新五国風土記：ひょうご彩祭 / 神戸新聞社編 2019年」は読みごたえがあります



**B 図書：** 世界、日本の庭園の本は多数所蔵しています。東福寺や庭園研究でも有名な重森氏「重森三玲庭園の全貌」は作品が多数掲載されています。「禅の庭Ⅲ」は禅の僧侶でもある榊井俊明氏の2010年から2017年の作品集で国内外で活躍されており10年前のビデオや英語の本も所蔵しています。「市中の山居一尼崎博正作庭集」は当校の庭園実習でもお世話になった尼崎氏の作品集で他の著作も所蔵しています。



「ひょうごの庭園」の西桂氏は淡路にもゆかりがあり新しく調査された79の庭園

**C 雑誌：** 写真はありませんが雑誌「庭」は40年以上の歴史があり当校でも1976年分より所蔵しています。季刊で発行され239号(2020年夏号)の特集は「造園×建築 理想の住まいづくり」別冊も寄贈があり集密書架に配架しています。



生涯学習コースの皆様にも人気なのが「マイガーデン」マルモ出版で最新号はNo.95夏号”新しい暮らしの発見”の特集を組んでいます。写真はNo.94春号で 特集は”軽井沢に野の花を訪ねて”です。創刊からの所蔵があります。「Garden Diary」は春秋発行でバラ好きの方必見です。

**D 他の館：**「咲くやこの花館」は世界の花と緑に出会える大温室 があり1990年の国際花と緑の博覧会が行われた鶴見緑地内にあります。「咲くやこの花館ガイドブック」は数冊所蔵し(470.7/Ta13)当時からの世界の植物が多数掲載されています。ハンギングバスケットコンテストや食虫植物展などのイベントや情報発信も積極的です。2020年7月15日夜咲きサボテンの花が咲いたそうです



ひょうごまちなみガーデンショーの審査員などを勤められている館長の久山敦氏は1972年から1年間、英国王立キュー・ガーデンズに学ばれました。その前に妻の和子氏との精力的な植物の旅を「ヨーロッパ花の旅」に著され(1976年)、当館にも2冊所蔵しています(472.3/Ku11)

**E 利用者から質問を解決する資料、よくある特定のトピックに関して調べるための資料を「パスファインダー」と呼びます。当館でも作成を始めた園芸療法課程の方がよく利用される「ハーブ」についての所蔵の本の一部を紹介しました。**

- ラルース美しいハーブの図鑑 (499.87/V69 2冊あり)
- ハーブ大百科：英国王立園芸協会 (617.6/B68 2冊あり)
- 英国流メディカルハーブ (499.87/O77)
- ハーブ大全 (617.6/Ma11)
- フランスのハーブと庭：魅惑の自然と整形の美 (629.2/Ki53)
- ペニシアのハーブ便り：京都・大原の古民家暮らし (617.6/Su57)
- 南仏プロヴァンスのハーブたち (617.6/H74)
- ハーブと精油の基本事典 (499.8/H48 2冊あり)
- (香りを楽しむ) ハーブの育て方145種 (617.6/K53)
- ハーブの花図譜：カラーチャート (617.6/H92)

編集後記：作業療法ジャーナルという雑誌を定期購読しており、表紙に和紙のちぎり絵など施設での手工芸が登場します。室内での楽しみ 切り紙、折り紙、ハーバリウム、プリザーブドフラワー等 創造の喜びを与えてくれる本を模索中です (A.S)